

that's  
**GOOD**  
science!

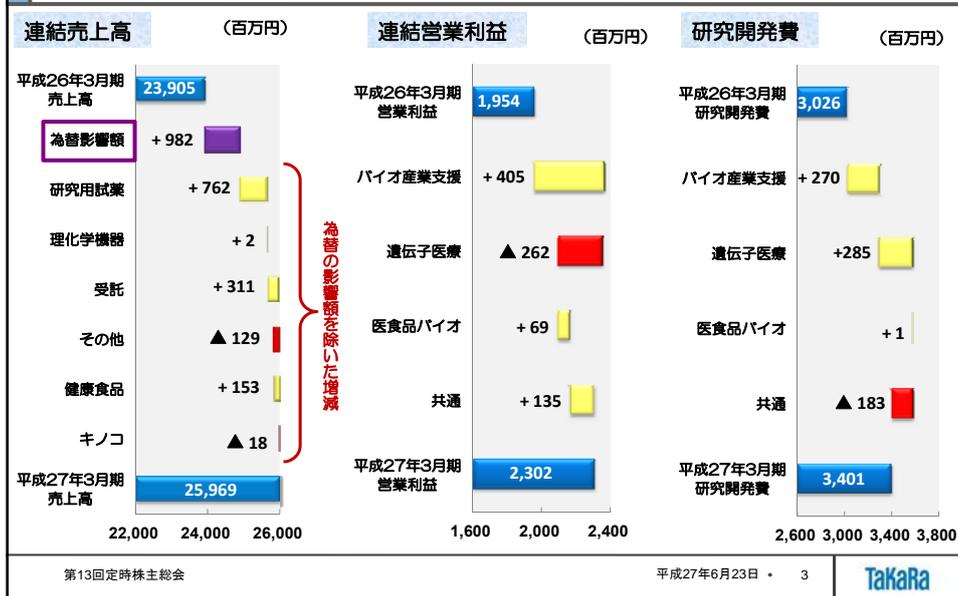
- ・第13期（平成27年3月期）業績
- ・中期経営計画（平成30年3月期まで）

## 連結業績

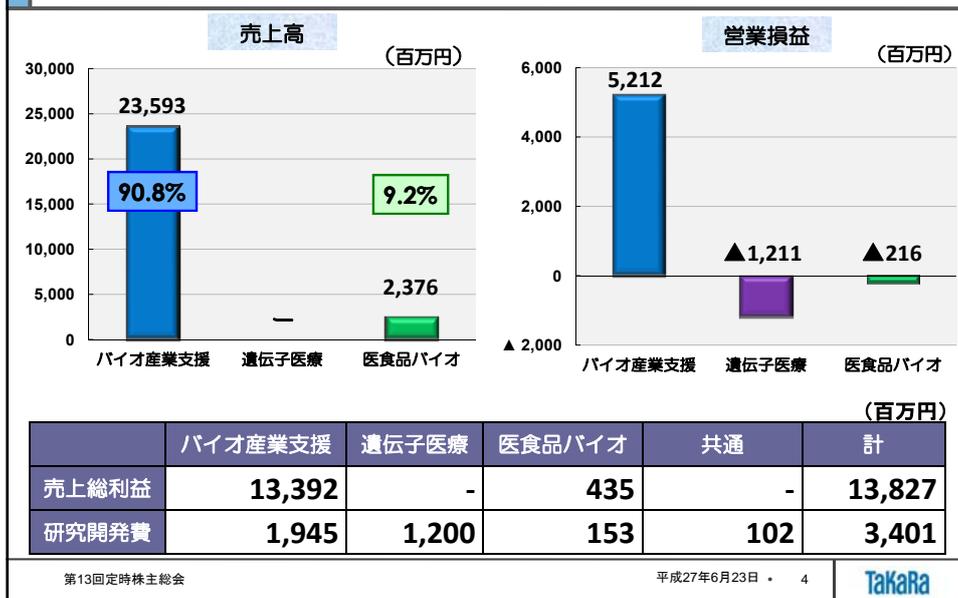
（百万円）

	平成27年3月期	前期比	
		増減	増減率
売上高	25,969	+2,064	+8.6%
売上原価	12,142	+810	+7.2%
売上総利益	13,827	+1,253	+10.0%
販売費及び一般管理費	11,524	+905	+8.5%
営業利益	2,302	+348	+17.8%
経常利益	2,772	+532	+23.8%
当期純利益	963	▲506	▲34.4%

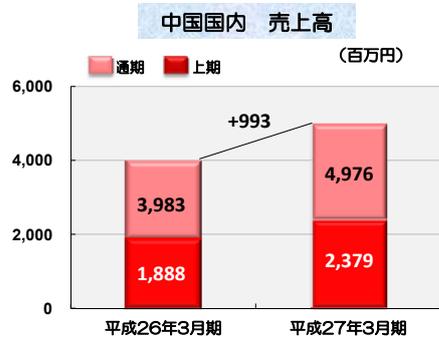
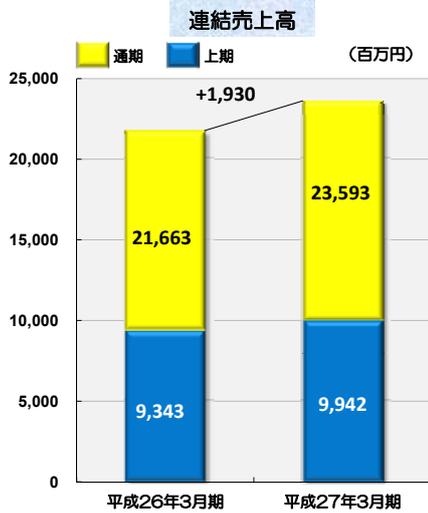
## 売上高・営業利益・研究開発費（連結） ＜前期比増減＞



## セグメント情報（連結）



## セグメント別売上高（連結） バイオ産業支援事業

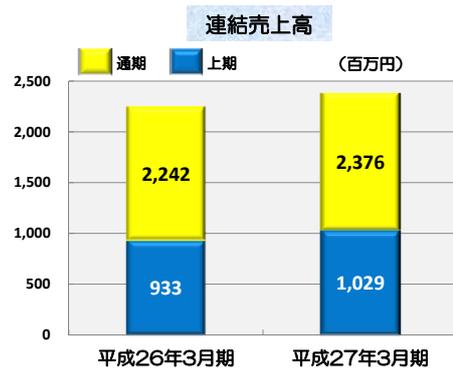


### 平成27年3月期 実績

- ・ 研究用試薬：前期比+16.7億円（111%）
- ・ 理化学機器：前期比+0.1億円（101%）
- ・ 受託サービス：前期比+3.4億円（113%）

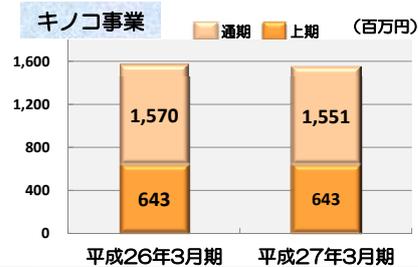
※平成26年3月期業績は、平成26年4月1日付の組織改正に従って組み替えた数値で比較しております

## セグメント別売上高（連結） 医食品バイオ事業

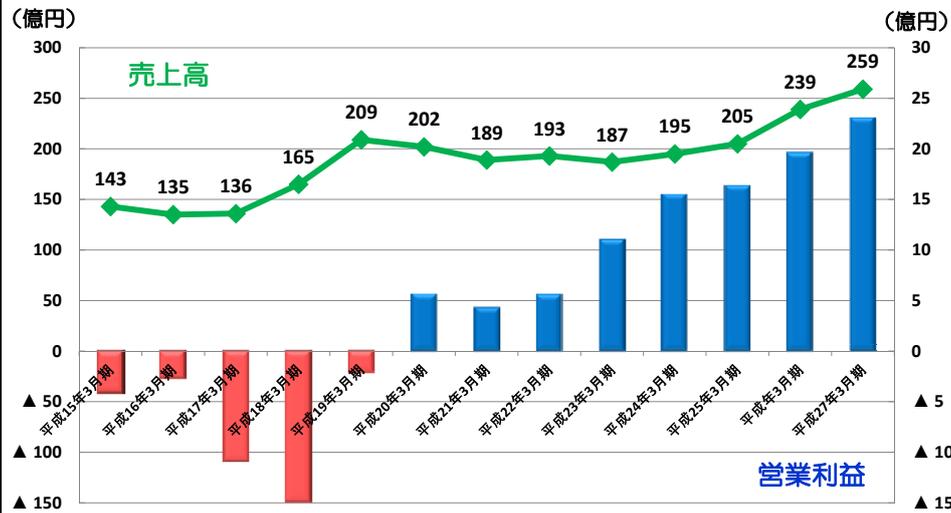


### 平成27年3月期実績

- ・ 健康食品事業 +153百万円
- ・ キノコ事業 ▲18百万円
- 内訳：ホンシメジ +61百万円
- ハタケシメジ ▲15百万円



## 売上高・営業利益（連結）の推移



第13回定時株主総会

平成27年6月23日 ・ 7

TaKaRa

## 単体業績

(百万円)

	平成27年3月期	前期比	
		増減	増減率
売上高	16,138	+526	+3.4%
売上原価	10,176	+923	+10.0%
売上総利益	5,961	▲396	▲6.2%
販売費及び一般管理費	6,402	+236	+3.8%
営業利益	▲441	▲633	—
経常利益	1,223	▲369	▲23.2%
当期純利益	423	▲892	▲67.8%

第13回定時株主総会

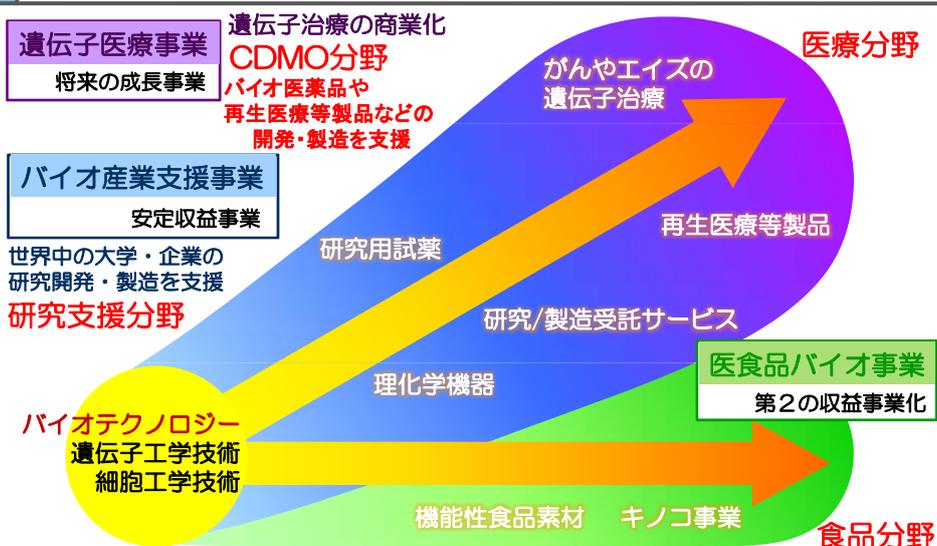
平成27年6月23日 ・ 8

TaKaRa

## 中期経営計画

- ・平成30年3月期までの業績目標
- ・各事業における施策

## タカラバイオ事業領域



## タカラバイオグループ連結業績目標

(百万円)

	平成28年3月期予算	平成29年3月期計画	平成30年3月期計画
売上高	28,300	29,800	31,300
営業利益	2,350	2,450	2,550
経常利益	2,800	2,870	2,970
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,500	1,700	1,800
研究開発費	4,013	4,514	5,015

### セグメント別営業利益

(百万円)

	平成28年3月期予算	平成29年3月期計画	平成30年3月期計画
バイオ産業支援	5,713	6,119	6,451
遺伝子医療	▲1,579	▲1,830	▲2,080
医食品バイオ	61	92	130
共通	▲1,845	▲1,931	▲1,951

第13回定時株主総会

平成27年6月23日 ・ 11

Takara

## セグメント別 売上目標

(百万円)

	平成28年3月期 予算	平成29年3月期 計画	平成30年3月期 計画
研究用試薬	19,519	20,532	21,489
理化学機器	2,405	2,405	2,405
受託	3,654	4,043	4,486
その他の他	398	398	398
バイオ産業支援	25,978	27,380	28,780
遺伝子医療	-	-	-
健康食品	841	920	1,000
キノコ	1,480	1,500	1,520
医食品バイオ	2,321	2,420	2,520
売上高 合計	28,300	29,800	31,300

第13回定時株主総会

平成27年6月23日 ・ 12

Takara

## 医食品バイオ事業の施策（1）：健康食品事業

医食品バイオ事業の営業利益



1 平成28年3月期、営業黒字化

2 機能性食品素材のエビデンス強化  
(アグロ・メディカル的アプローチ)

3 エビデンスデータのWeb公開や  
情報冊子配布による啓発活動の  
強化

### 機能性食品素材のエビデンス

- ・ガゴメ昆布「フコイダン」：免疫活性化作用、インフルエンザ予防作用・育毛作用など
- ・ボタンボウフウ「イソサミジン」：血流改善作用、排尿改善作用
- ・明日葉「カルコン」：メタボリックシンドローム改善作用
- ・寒天「アガフィトース™」：関節炎予防作用、美容作用（シワ予防など）
- ・クーガイモ「ヤムスゲニン。」：脂肪燃焼作用や運動能力の向上作用
- ・きのこ「テルペン」：抗腫瘍作用

## 医食品バイオ事業の施策（2）：キノコ事業

### 4 キノコ生産の効率化と収益性の高い販路開拓による販売拡大

- ・瑞穂農林株式会社に生産を集約し、生産の効率化
- ・高付加価値なホンシメジの販売に注力
- ・収益性の高い販路の開拓などによる収益の改善

		平成27年3月期 実績	H28年3月期 予算
ホンシメジ (瑞穂農林株式会社)	売上高	579百万円※	585百万円
	販売量	約352トン※	約278トン
ハタケシメジ (瑞穂農林株式会社)	売上高	413百万円	346百万円
	販売量	約674トン	約487トン
フナシメジ (株式会社 きのこセンター金沢)	売上高	122百万円	150百万円
	販売量	約238トン	約275トン
キノコ合計	売上高	1,115百万円	1,083百万円



※ホンシメジの平成27年3月期実績には、タカラバイオ株式会社桶工場での生産分が含まれています。

## バイオ産業支援事業の施策（1）：事業拡大の方向性

### 1 遺伝子工学から細胞工学へ

- 細胞加工受託サービスなど、CDMO事業の拡大
- 幹細胞研究、再生医療・細胞医療支援分野の新製品・サービスの開発

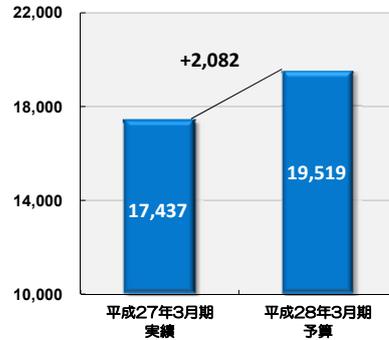
### 2 基礎研究支援から先端研究支援へ

- 次世代シーケンス関連試薬の開発強化
- 遺伝子検査などの受託サービスの拡大

### 3 研究支援分野から産業支援分野へ

- 診断薬会社向けなどのカスタム製品・酵素バルク製品の開発・強化
- OGCTP/GMP準拠製品の開発

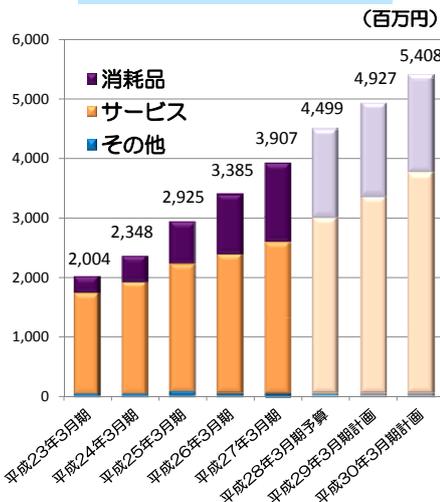
研究用試薬の連結売上高 (百万円)



平成27年3月期 研究用試薬の連結売上高  
前期比+20.8億円の内訳  
為替の影響：+6.3億円  
日本：+2.1億円、中国：+4.2億円  
欧州：+2.7億円、米国：+3.7億円

## バイオ産業支援事業の施策（2）：CDMO事業の拡大

CDMO事業売上高推移 (百万円)



平成28年3月期 通期売上予算

再生医療等製品関連受託：前期比+360百万円  
遺伝子検査受託：前期比+323百万円  
細胞培養用培地・バッグ：前期比+113百万円

細胞加工受託が可能となる  
特定細胞加工物製造許可の取得





## バイオ産業支援事業の施策（4）： 再生・細胞医療研究支援製品の拡大



Enhanced hiPS - HEP/CM

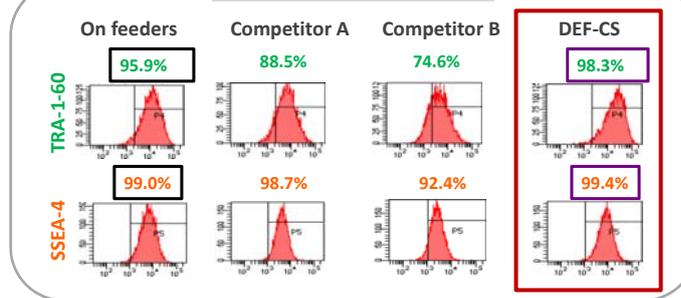
ヒトiPS細胞由来肝臓細胞/心筋細胞培養キット

DEF-CST<sup>TM</sup> 500

Feeder-freeでのヒトiPS細胞用培地キット



ヒトiPS細胞での性能評価



DEF-CST<sup>TM</sup> 500 Xeno-free  
Culture Medium

再生医療研究に適した、  
動物およびヒト由来の成分を含まない、  
Feeder-freeのヒトiPS細胞用培地

## バイオ産業支援事業の施策（5）： 先端研究支援分野の拡大

SMART-Seq<sup>TM</sup> v4 Ultra Low Input  
RNA kit for Sequencing

超微量RNAサンプルからの高効率cDNA調製キット

- 超微量サンプルからの次世代シーケンサーによる  
遺伝子発現解析用キット、シングルセル解析が可能



AAVpro<sup>®</sup>シリーズ

アデノ随伴ウイルス（AAV）ベクター作製・精製キット

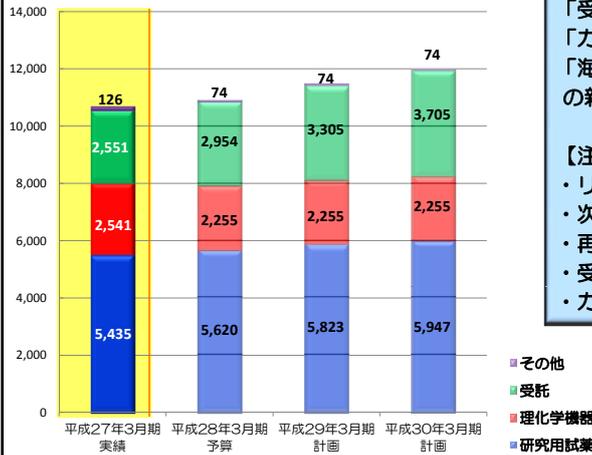
- AAVは、安全性が高く、高効率な遺伝子導入が可能で、  
組織指向性があるため、基礎研究から臨床研究に使用
- 遺伝子・細胞プロセッシングセンターにおける  
受託サービスにも活用



## バイオ産業支援事業の施策（6）：日本での展開

バイオ産業支援事業の日本国内売上高

(百万円)



【組織変更】

「受託開発部」  
「カスタマーリレーションセンター」  
「海外営業部」  
の新設

【注力製品・分野】

- ・リアルタイムPCR関連製品
- ・次世代シーケンス関連製品
- ・再生・細胞医療研究支援製品
- ・受託サービス（GCTP、遺伝子検査）
- ・カスタム製品・酵素バルク製品

第13回定時株主総会

平成27年6月23日・21

TakaRa

## バイオ産業支援事業の施策（7）：海外での展開

(百万円)



中国：細胞培養用培地・バッグ、  
診断薬会社や検査会社への酵素拡販  
米国：次世代シーケンス関連製品などの  
開発強化・拡販  
欧州：直販強化による拡販、  
幹細胞関連製品の開発

海外売上高（現地通貨ベース）

	平成27年3月期実績	平成28年3月期予算	
中国（百万元）	289	316	
米国（千ドル）	45,982	49,585	
欧州	カワバ イコ-oppa SAS（千1-0）	13,853	15,225
	カワバ イコ-oppa AB（千加-ナ）	5,883	22,480
韓国（百万ウォン）	8,220	8,890	
インド（百万ルピー）	135	183	

## 遺伝子医療事業：臨床開発プロジェクトの推進

- Oncolytic Virus（腫瘍溶解性ウイルス）
  - ・ HF10 プロジェクト
- Engineered T cell Therapy（分子標的T細胞療法）
  - ・ siTCR遺伝子治療プロジェクト
  - ・ CAR遺伝子治療プロジェクト
  - ・ MazF遺伝子治療プロジェクト

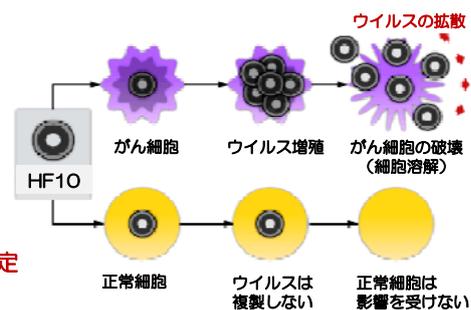
## Oncolytic Virus：HF10プロジェクトの進捗状況

### HF10（日本）

- 治験（固形がん）
  - ・ 再生医療等製品としての治験
  - ・ 国立がん研究センター中央病院で、第Ⅰ相臨床試験を実施中
  - ・ 目標症例数：6名
  - ・ 平成27年度に第Ⅰ相臨床試験を終了予定

### HF10（米国）

- 治験（メラノーマ）
  - ・ 悪性黒色腫を対象にハンツマン癌研究所など8施設で、第Ⅱ相臨床試験を実施中
  - ・ 既存抗がん剤pilimumabとの併用療法
  - ・ 目標症例数：43例（19例に投与）
  - ・ 平成28年度に第Ⅱ相臨床試験を終了予定

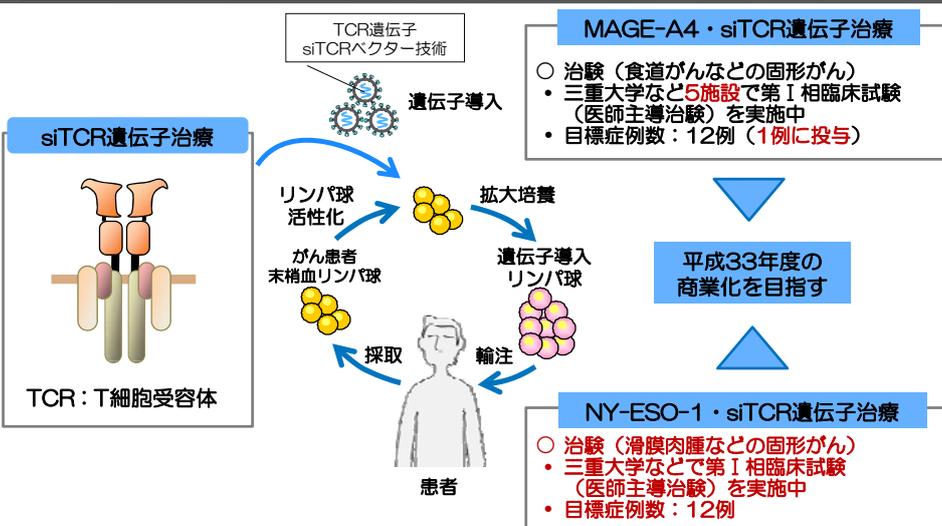


## HF10 プロジェクト：米国第Ⅱ相臨床試験における症例腫瘍縮小効果を確認

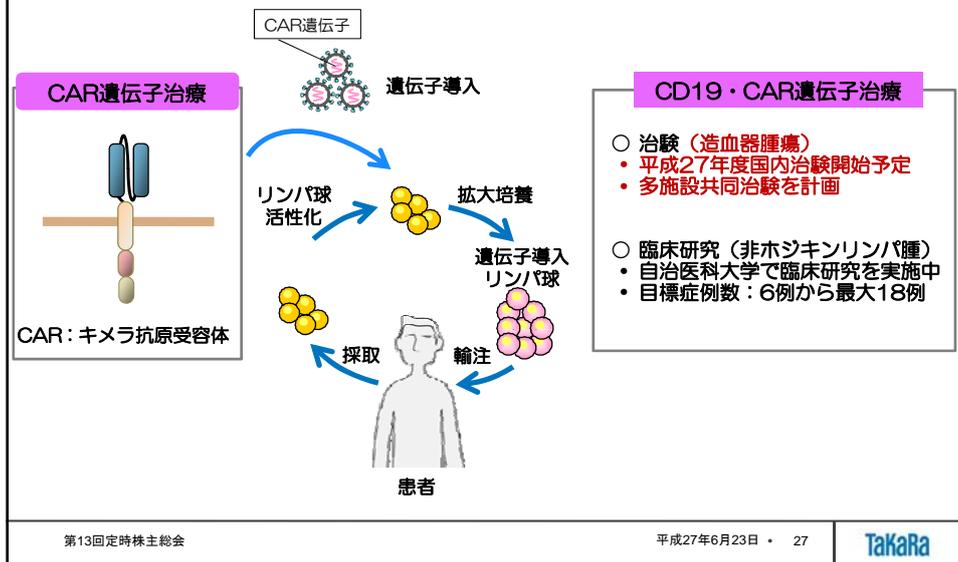
80歳男性、メラノーマ



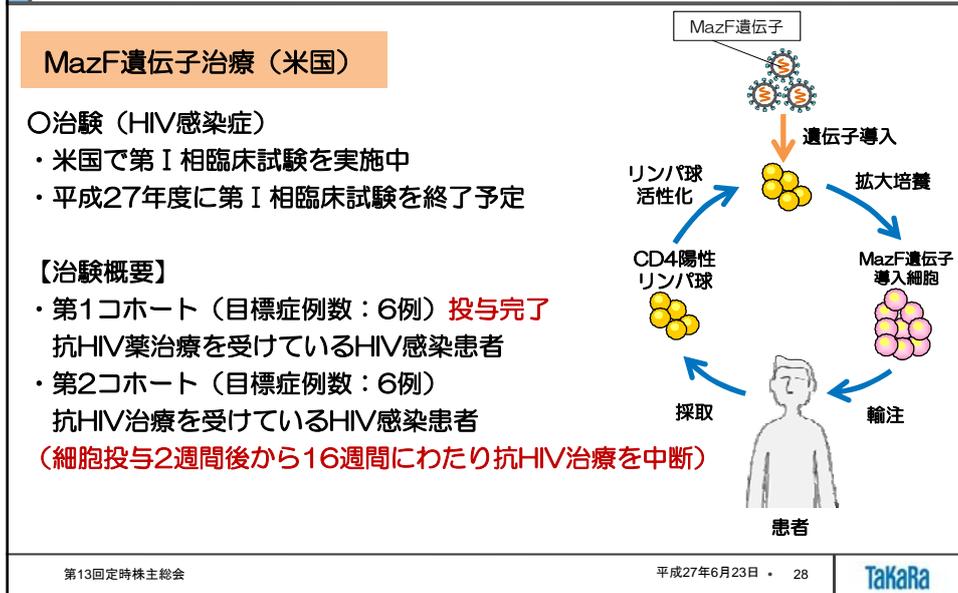
## Engineered T cell Therapy : siTCR遺伝子治療プロジェクト



## Engineered T cell Therapy : CAR遺伝子治療プロジェクト



## Engineered T cell Therapy : MazF遺伝子治療プロジェクト



## 遺伝子治療プロジェクトの臨床開発スケジュール

		対象疾患	Phase	日本における 検討適用制度	商業化	
Oncolytic Virus	HF10	メラノーマ など	Phase I (国内) ※ 平成27年度終了予定	・オーファンドラッグ制度 ・先駆け審査指定制度 ・条件及び期限付承認制度	平成 30年度	
		メラノーマ	Phase II (米国) 平成28年度終了予定	—		
Engineered T cell Therapy	siTCR	MAGE-A4・ siTCR遺伝子治療	Phase I (国内) ※ (医師主導治験) 平成27年度終了予定	・条件及び期限付承認制度	平成 33年度	
		NY-ESO-1・ siTCR遺伝子治療	Phase I (国内) ※ (医師主導治験) 平成28年度終了予定	・オーファンドラッグ制度 ・条件及び期限付承認制度		
	CAR	CD19・ CAR遺伝子治療	造血器腫瘍	治験開始準備中 平成27年度開始予定 (国内)	・オーファンドラッグ制度 ・条件及び期限付承認制度	
		MazF遺伝子治療	HIV感染症	Phase I (米国) 平成27年度終了予定	—	平成 34年度
				※:再生医療等製品としての治験		
第13回定時株主総会			平成27年6月23日	29	TakaRa	